

「喜びと勝利の光」 イザヤ書 9章 1-

序論)

アドベント 4 週目。きょうここに 4 本の灯火には意味があって、それぞれ灯という意味があります。

【主】 イエスキリストはまさにこの今日は、イザヤ書 9 章の預言から、イださったのか。教えられていきたいと

背景)

まずは 1 節を読みましょう。

9:1 しかし、苦しみのあったところに
りの地は辱めを受けたが、後には海沿
リラヤは栄誉を受ける。

んでいる状況をみたりすると、神様が
いのか。と思わずつぶやきたくなるよ

実際に、統一教会関連の事件で宗教
がいるのならば、なんでこんな事が起
証拠だ！ と声高に叫んでいます。人

面するとき、指導者や神を呪ってしま

そして、それこそサタンに支配され

神の民であるイスラエルが、異邦人
ある意味ではサタンの支配の中に人が
えるでしょう。しかし、神様はそのよ
ことを預言されています。

光の到来)

2-3 節を読みましょう。

9:2 闇の中を歩んでいた民は大きな光
に光が輝く

その喜びは、「借り入れ時に喜ぶように」と表現されていますが、これのことです。

私は、自分では植物を育てたりしてさつまいもを育てたことがあります。して、みんなで芋煮会をやって喜んだる喜びというのは、やっぱり他の喜満たされる喜び。そのような健全な喜

また、勝利の喜びっていうのも、敵闇の中に閉じ込めていたものが打倒さ例えば、ロシアがウクライナから完全態になったならば、ウクライナの人たうか。自由と解放。その喜びに満たさ

神様は私達にそのような喜びを与えたのです。

神の民の経験)

神業の勝利を経験させてくださる光な
神様は、その光によって神的勝利を
要はなくなるのです。だから、5節に

**9:5 まことに、戦場で履いたすべての
餌食となる。**

私たちはこの世で勝利者になるため
ない。」そう思っています。でも、神様
方をもはやしなくていいのです。自分
いい状況になるのです。

喜びと勝利の理由)

なぜでしょうか。神の民が圧倒的な喜
7節にかかれています。まずは6節を

9:6 ひとりのみどりごが私たちのため

「不思議な助言者」とういのは、「奇蹟」の意味です。イエス様はまさに、私達人間です。

「力ある神」というのは、あまり説教を言わずに「みどりご」つまり、赤ちゃんとしてこの世にきてくださったのです。イエス様は、人間であるお方として、この世に

また「永遠の父」というのは、私達様は支配者であり、助言者であり、神お父さんとしても来てくださったのでしてくださるお方ですよ。イエス様はいつまでも守る者としてこの世に来て

だから、イエス様は天に昇られるとは世の終わりまで、いつもあなたがたを守ってお方としてイエス様は来られ

そして、最後「平和の君」。平和といふ言葉がもっているイメージは 完全

となります。

ねたみ。ってどのような感情ですか。
よね。神様は、私達が暗闇に閉じ込め
つよく妬みの感情をもたれるのです。

「わたしの大切な、愛する神の民たち
はいかない。なんとしても自分のところ
そのような嫉妬にもにた、熱い熱い
イエスキリストをこの世を照らす光と
のです。神様は、それほど私達を熱心
その結果が、クリスマスなのです。

まとめ)

みなさん。この世の暗闇をみるなら
があるかも知れません。イスラエルの
を呪い、神様を呪いたくなるような時

でも、そんな絶望の中にいる人達に

られる。

となっけていますけども、これを直訳す

9:6 ひとりのみどりごが私たちのため
られた。

となっけています。未来のことなのに、
ます。なぜかというと、それぐらい確

みなさん、イエス様が勝利してくだ
のです。ですから、このみことばを握

【主】 イエスキリストという光は、必
きたいと思います。